学校だより No.5（5/11）では、暖かくなり街路樹の枝にかわいい若葉が…と書きました。あれからさらに約1か月が過ぎて木々の葉は生い茂り、ここトロントは、早くも夏を感じさせる日差しが届くようになりました（もう、夏でしょうか…）。

1学期も折り返しの時期となり、各教室での授業も軌道に乗っています。中学部では中間テストを実施いたします。気持ちのよいこの時期、子どもたちの明るい笑顔が学校前の遊具や広場でもたくさん見られます。学習にも、運動にも、生き生きと取り組んでいけるよう、指導を進めてまいります。

教育講座「『現地校と補習校の両立・日本語の維持』＆保護者交流会」

前半では、パネラーの方々にうかがいました

6月1日（土）に教育講座を開催しました。

前半は、本校幼稚部、小学部、中学部、そして高等部にお子さまが在籍する4人の保護者様には、本講座のパネラーとしてご登場いただきました。子育てをしてこられた中で、うまく進められたことや、困難に思われたことなどのご経験を、お一方ずつ、具体的にお話しいただきました。また、今、振り返られ、感じられることやお気持ち、お考え等についてもお伝えいただきました。

後半は、保護者の方々に三つのグループに分かれて車座になっていただき、前半でうかがったお話をもとに、それぞれの方々のご経験や状況などをお話しいただき、情報交換を進めました。

- 週5日現地校＋週1日補習校（＋現地校・補習校の宿題）というとても厳しい生活を過ごす我が子に、どのような支援が考えられるのか。
- 学年が上がるにつれて難易度もどんどん上がる補習校での授業に、親子でどう対応してきたか。
- 成長とともに英語がどんどん強くなっていく我が子の日本語を維持するために、どのような方法が有効なのか。
- 帰国・受験を見据えた日本語維持と英語の獲得をどう考えるか。
- 補習校卒業後にカナダの大学へ進む我が子が保持する日本語の価値とは。

様々な視点からのお話を、皆様にはフランクに交換していただきました。

4人のパネラーの保護者様、そして、本日ご参加いただきました保護者の皆様、大変貴重な交流の場としていただきましたことに感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

いよいよ中間テスト（中学部）

明日は、中学部の中間テストを実施します。「準備」がとても大切と思います。あとは本番を迎えるのみとなりました。生徒の皆さんには、蓄えた力を全て発揮できるように、最善を尽くしていただきたいです。

今からできること、当日に心掛けたいことは、お子さまそれぞれに抱いていることと存じます。「頭をすっきりさせるために、前日は早めに寝る」「体調を整えて、落ち着いて本番に臨む」「時間配分を意識して時間を有効に使う」「最後まであきらめないで考える、思い出して記述する」など、自身の経験から、様々思いめぐらせているのではないでしょうか。

今は現地校の年度末で、まとめの時期と存じます。現地校の課題と補習校の課題、そして中間テストの勉強…、お子さまは大変な困難にチャレンジしていることと思います。そのような中、特に中学1年生は、初めての定期テストということもあり、少なからず緊張もあることと思います。

生徒の皆さんが今もっている力を出し切って、納得できる気持ちでテスト終了のブザーを迎えられますように、応援しています。

「意見交流 & 学び合い」の授業研究を進めています

仲間と考えを交流しています

補習校では、教員の指導力向上を目的とする授業研究を毎年行っています。今年度は6月1日（土）からスタートいたしました。この日は、中学部2年生、国語の単元「クマゼミ増加の原因を探る」の授業で実践しました。

この単元では、「文章の構成や展開について、理解を深める」こと「文章全体と部分の関係や、文章と図表の関係に注意して読む」ことを学習の目標としています。今回は、まず自分で考えを巡らせた後、仲間と考えを交流することで自分の考えを広げていきました。そして、生徒同士の「学び合い」を授業の後半に設定することで、生徒が上記目標に迫れるように進めました。

「（本時の学習問題について、）一人で考えをめぐらせる」
→「（席を立って移動し、）学級の仲間と考えを交流する」
→「得られた考えをグループにもち帰り、相談、整理する」
→「整理したことを発表することで、学級全体で共有する」
→「自分の考えをさらに広げ、本時の学習への理解を深める」

発表を通して共有しています

授業の中でのこうした考えの交流や学び合いを通して、生徒は様々な考えや意見に触れ、各自の考えをさらに広げ、理解を深めていきました。

補習校での学習が、子どもたちにとって「わかる授業」であることを目指して、今後もこうした授業研究を進めてまいります。